

# 私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会(事務局:全国私立学校教職員組合連合)  
No.53 2025年2月21日(金)

## 「国会の重い扉をようやく開ける」歴史的な集会 私学助成署名提出・院内集会

# 73人の国会議員関係者に228万4339筆の署名提出を報告

2025 2.19 学費の公私間格差・自治体間格差是正を求める院内集会 参加議員一覧

本人出席議員のみなさん				代理出席議員のみなさん				
お名前	選出	院	会	No	お名前	選出	院	会
松田功議員	比例東海	衆	立	1	工藤彰三議員	比例東海	衆	自
○ 堂後茂議員	富山	参	自	2	金子恭之議員	熊本	衆	自
松木けんこう議員	北海道	衆	立	3	八幡愛議員	比例近畿	衆	れ
○ 船後靖彦議員	比例	参	れ	4	仁比聡平議員	比例	参	共
○ 宮口治子議員	広島	参	無	5	大野敬太郎議員	香川	衆	自
大嶽理恵議員	比例東海	衆	立	6	田島麻衣子議員	愛知	参	立
藤原規真議員	愛知	衆	立	7	三上えり議員	広島	参	立
黒岩宇洋議員	新潟	衆	立	8	小川淳也議員	香川	衆	立
☆ 波多野翼議員	比例北信越	衆	立	9	重徳和彦議員	愛知	衆	立
佐原若子議員	比例東北	衆	れ	10	山下芳生議員	比例	参	共
城井崇議員	福岡	衆	立	11	磯崎仁彦議員	香川	参	自
☆ 佐々木ナオミ議員	比例南関東	衆	立	12	山本博司議員	比例	参	公
尾辻かな子議員	比例近畿	衆	立	13	丹野みどり議員	愛知	衆	国
菊田真紀子議員	新潟	衆	立	14	浅野哲議員	茨城	衆	国
☆ 眞野哲議員	比例東海	衆	立	15	芳賀道也議員	山形	参	国
階猛議員	岩手	衆	立	16	中谷一馬議員	神奈川	衆	立
堀川あきこ議員	比例近畿	衆	共	17	伊藤岳議員	埼玉	参	共
新妻秀規議員	比例	参	公	18	斎藤嘉隆議員	愛知	参	立
森山浩行議員	比例近畿	衆	立	19	平岩征樹議員	比例近畿	衆	国
升田世喜男議員	比例東北	衆	立	20	舟山康江議員	山形	参	国
○ 吉良よし子議員	東京	参	共	21	大門実紀史議員	比例	参	共
小沼巧議員	茨城	参	立	22	河村たかし議員	愛知	衆	保
阿部知子議員	神奈川	衆	立	23	古川元久議員	愛知	衆	国
近藤昭一議員	愛知	衆	立	24	篠原豪議員	神奈川	衆	立
高木まり議員	埼玉	参	立	25	辻元清美議員	比例	参	立
本村伸子議員	比例東海	衆	共	26	杉村慎治議員	埼玉	衆	立
☆ 小山千帆議員	比例東海	衆	立	27	滝沢求議員	青森	参	自
山添拓議員	東京	参	共	28	吉川元議員	比例九州	衆	立
堂込麻紀子議員	茨城	参	無	29	木戸口英司議員	岩手	参	立
福島みずほ議員	比例	参	社	30	若山慎司議員	比例東海	衆	自
大橋ゆうこ議員	比例	参	社	31	津島淳議員	青森	衆	自
大島九州男議員	比例	参	れ	32	大石あきこ議員	比例近畿	衆	れ
倉林明子議員	京都	参	共	33	泉健太議員	京都	衆	立
☆ 今枝宗一郎議員	愛知	衆	自	34	里見隆治議員	愛知	参	公
武村展英議員	滋賀	衆	自	35	打越さく良議員	新潟	参	立
三宅伸吾議員	香川	参	自	36				
○ 水野もと子議員	神奈川	参	立	37				
紙智子議員	比例	参	共	38				

# 228万筆超署名提出



私学助成拡充を求める高校生(左端)の発言を聞く人たち=19日、参院議員会館

私学の教職員や保護者でつくる全国私学父母懇・私学助成をすすめる会は19日、高校無償化の議論を追い風に前進しようと、学費の公私間格差・自治体間格差是正を求める集会を参院議員会館で開き、私学助成全国署名228万4339人分を提出しました。

鈴木昭浩共同代表は「私学助成や就学支援の前進がある一方、自治体間の格差が問題になっている。授業料無償化、私学助成で子どもたちが安心して学べる環境をつくらう」と呼びかけました。

山口直之共同代表(全国私学教連委員長)は、署名が累計5億9600万人分になることを紹介。私学の家庭負担が生

福井県の女子高校生は「母子家庭で学費が申し訳ないと思っていた。署名活動を始めて、社会の問題だと分かった。高校生の声を聞いてほしい。将来、教員を目指しているの、私学の経費助成もしてほしい」と訴えました。

日本共産党の本村伸子、堀川あきこ両衆院議員、倉林明子、紙智子、吉良よし子、山添拓の各参院議員や与野党の国会議員があいさつしました。

## 私学助成をすすめる会が集会

しんぶん赤旗 2月20日付

	本	代	計
自由民主党	4	7	11
立憲民主党	20	13	33
国民民主党	0	6	6
公明党	1	2	3
日本共産党	6	4	10
日本維新の会	0	0	0
社会民主党	2	0	2
れいわ新選組	3	2	5
日本保守党	0	1	1
無	2	0	2
計	38	35	73

参加政党 9

※ 受付ご到着順で表記  
※ 本人出席 = 38名  
※ 代理出席 = 35名  
議員関係 73名の参加

	本人	代	計
衆	22	19	41
参	16	16	32
	38	35	73

☆…衆議院文部科学委員 7名  
○…参議院文教科学委員 6名



会場を満杯にした21都道府県94人の参加者

## 「歴史的な集会に」私学助成の拡充求め保護者らが院内集会 (教育新聞2月19日付)

高校無償化を巡る国会での議論が大詰めを迎える中、全国の私立高校に通う生徒の保護者や教職員らでつくる「全国私学助成をすすめる会」の院内集会が2月19日、参議院議員会館で開かれた。同会が公立・私立間の格差是正などを求めて半世紀以上にわたって集めた署名は累計5億筆以上に及びといい、出席者からは高校無償化の実現が近づいたとして、「歴史的な集会になると思う」「教員の増員なども審議してほしい」と国会に期待する声が上がった。

同団体は、高校生の学費を巡って公立・私立間や自治体間の格差が広がっているとして、毎年、国の責任で格差是正に向けて私学助成を拡充するよう求める署名活動を続けており、今年度は約228万筆を集めた。集会には21都道府県から保護者や教職員ら約100人と、代理出席も含めて76人の国会議員が参加した。

初めに同会の山口直之共同代表があいさつに立ち、「1971年から半世紀以上にわたって累計で5億9600万筆の署名を届けており、国会で無償化が大きく取り上げられていることにお礼を言いたい。無償化が進んでいる自治体もあるが、結果として自治体間格差が広がっており、生徒数に見合った教員が確保されていないなどの課題もある。国会でしっかり審議してほしい」と国会議員に要請した。

また、出席した与野党の国会議員が一人ずつあいさつし、「学費が高くて親に申し訳ないと高校生に言わせたりすることがないよう、一緒に取り組みましょう」「無償化の前進が実現しそうな局面になっている。人生格差につながる教育格差はあってはならない」「日本はそもそも教育にける予算が少ない。しっかりと中身のある予算を実現させたい」と述べた。

最後に参加者を代表して福井県の愛女子高校3年の青山渚月美さんが「私立に入学して親に学費の面で申し訳ない気持ちを持っていたが、活動を始めてこれは自分でも親のせいでもなく社会の問題だと捉えられるようになった。全国の高校生とつながる中で、私学に入ったから車を売却したとか、妹や弟が進路を変えないといけなくなったという声を聞いた。家庭の経済格差にかかわらず、受けた教育を受けられる社会を望んでいる」と訴えた。

集会の後、愛知県から参加した母親は国会で無償化の議論が進んでいることについて、「長年にわたる悲願だったので、わくわくしながら注視している。私たちがしてきた苦労は孫には負わせたくなく、ぜひ実現してほしい」と語った。別の母親は「所得制限撤廃の動きに注目している。所得制限によって親が働き控えをしたり、同じ教室で支援を受ける子と受けられない子がいたりするという状況も生まれたりしており、しっかり進めてほしい」と語った。

同団体が今年度集めた約228万筆の署名は、国会議員を経て政府に提出される。